

校長室だより(No.25)

令和3年10月14日
丹波市立黒井小学校長
谷口 千尋

Powerchair Football

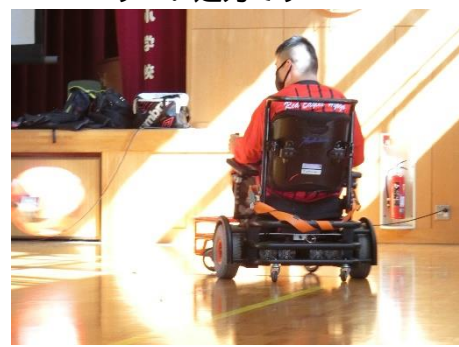
ビデオで学習します



練習を見学します



すごい迫力です



Powerchair Football「電動車椅子サッカー」とは、電動車椅子の前にフットガードを取り付けて行うサッカーです。本校の3年生が福祉学習として、「Red Eagles 兵庫」の選手と交流しました。当日は、選手をはじめコーチや支援いただく方など多くの方に来校いただきました。新型コロナウイルス感染症の感染状況が収まりつつあるとはいえ、このような中で来校いただいたことに感謝しています。

このスポーツは、4人制(男女混合)です。試合時間は、20分ハーフで、ピッチのサイズは、14~18m×25から30mで主にバスケットコートを使用します。ゴールの幅は6mとなります。用具としてボール(直径32.5cm)と電動車椅子を使用します。電動車椅子の速度の規定もあり国内は最高速度6km/h以下となっています。

サッカーと大きく異なるルールは、2つあります。ペナルティエリアにディフェンスが3人以上入ってはいけないことと、ボールに対して半径3m以内に各チーム1人しかプレーに関与してはいけないことです。

クラス分けもあり、PF1は、パフォーマンス全体に影響する相当重度な身体的障がいを持つ選手、PF2は、パフォーマンス全体に影響する身体障がいは穏やかで基準を満たしている選手となります。

子どもたちのほとんどがこの日、Powerchair Footballに初めて出会ったことと思います。事前にビデオ等で学習はしていたもののボールを扱う選手器用さやシュートの迫力に圧倒されていました。車椅子で生活されている選手の背景には様々なものがあると思います。事故や病気、中には進行性の難病の選手もいると聞きました。どんな状況でも競技を続けていこうとする決してあきらめない姿勢から様々なことを学んでくれたことと思います。